

# なかしべつ

## 議会だより



活力みなぎる緑の郷土 なかしべつ



秋空の中、収穫を楽しむ子供たち

- 最終処分場で何かが爆発 ②
- 一般行政報告・教育行政報告 ③
- 一般質問に5人で9問 ④~⑧
- 9月定例会で補正予算・条例等が決まる ⑨
- 後期の委員会構成決まる ⑩~⑫
- 人事案件同意2件・諮問1件 ⑬

平成18年10月

No.71

# 廃棄物最終処分場で何かが爆発

## スプレー缶などのガス抜きと分別にご協力を

去る8月9日、当幌にある中標津町一般廃棄物最終処分場の粗大ごみ処理施設で爆発事故が発生いたしました。幸い人的な被害や建物への被害はありませんでしたが、破砕機などの設備が大破し、一歩間違えば大事故につながる恐れがありました。

町では、破砕機メーカー等の協力を得ながら事故原因の調査を行いました。これに類する一般的な爆発事故は、プロパンガスなどによるものが多いとの提言を受け、事故発生直後のごみについて、ガスボンベやエアソール缶の金属片について、金属探知機を使用し調査しましたが、発見することができませんでした。

この他にも、市販のガソリンやエタノールなど揮発性が高いものが、ビニールやプラスチック製の容器に入れられ排出され、

容器内で気化しガス化状態になることで、プロパンガスなどと同様の現象を引き起こすことが考えられます。

また、薬品類には揮発性が高く、発火点の低いものも多く、何らかの爆発性の高い物質の混入によることも推測されますが、爆発物を特定することは出来ませんでした。

### 財政の厳しいとき336万円の臨時支出！

しかし、何らかの爆発物が混入したことは明らかであり、今後再発防止にむけ、町民皆さんの爆発に対する認識と、ごみの排出に対する一層の協力が欠かせません。

そのためには、まず、有害ごみ・危険ごみの分別を徹底するとともに、町では処理できない、ガソリン・灯油・廃油などの油類、

農薬などの薬品類、ペンキ・シンナー・プロパンガスボンベなどは絶対に排出しないこと。また少量のガソリンやエタノール類でも、密閉された容器の中で気化した場合、プロパンガスと同程度の爆発力があることが判明しておりますので、塗料の缶やエンジンオイルの缶等についても、中身を完全に空にするこ

とは勿論、付着物も完全に取り除く必要があります。

また、可燃ごみであっても油類や薬品類が付着した布類は、濡れたままの状態ですべて密閉容器に入れて排出すること等は、絶対にやめてください。

今回336万円の補正予算を計上し修繕いたしますが、この様な事故が二度と起こらないよう、住民皆が注意し取り組んでまいりましょう。



収集後、再度分別される缶類



爆発が心配される多量のスプレー缶類

# 一般行政報告

## 要望等について

根室地方総合開発期成会として、関係各庁へ酪農経営活性化及び環境保全対策の推進、道路網の整備、北方領土問題の解決、自治体病院に対する支援対策などの要請活動。釧根トライアングル整備構想連絡会議として、釧路・中標津、根室・中標津道路の早期整備について要請。

北海道空港協会として地方空港の維持管理費等への支援強化、着陸料軽減措置の継続、拡充などの要請を行いました。北海道警察航空隊道東基地を中標津空港に誘致する要請ですが、夜間の管理体制などから帯広空港に決定しました。

## 寄贈金品について

町に対し、現金で2件、200万円、物品で3件、社会福祉協議会に対しても、現金で26件、120万円の善意が寄せられました。

## 牛乳消費拡大と

### 乳業新工場建設

消費拡大キャンペーンや航空機の乗客に牛乳のプレゼント、美幌市の「びびい歌舞裸

まつり」で牛乳・乳製品のPRを行いました。

「雪印乳業中標津工場の新工場建設」は、平成19年度中に稼働予定、投資額は100億円です。現工場の2倍以上の能力を持つ工場となります。



美幌市でPRされた本町の乳製品

## 町国民保護協議会の設立

19人の委員構成で「中標津町国民保護計画」案を作成し北海道知事の決定通知を受け、後、議会に報告の予定です。

## 町税等の収納向上対策

この機構は参加町村から納税案内を引き受け、処分を行い、徴収して参加町村に引き継ぐ組織です。

現在、設立準備室を設置し、検討が進められております。

## 後期高齢者の医療制度

平成20年4月から、現在の老人保健制度は廃止され、新たに標題の制度が創設されます。

この制度は、将来にわたり医療保険制度を持続可能にするため、都道府県単位で広域

連携をつくり運営するものです。

## 道教育大学と本町との相互協力協定の締結

協力・連携関係にあった教育大学と教育・文化・健康・スポーツな



# 教育行政報告

## 各種大会出場について

ホクレン旗杯少年野球大会に中標津ホルスタイン野球少年団が、道新スポーツ旗・北電力カップサッカー少年団大会に中標津サッカー少年団が、赤銅少年剣道錬成大会に剣道スポーツ少年団から1人が、各々参加し活躍しました。

次に北海道中学校体育大会には計根別中からバドミントン、中標津中から女子バレーボール・水泳・卓球・バドミントン・剣道・柔道、広陵中から陸上競技・水泳・卓球の各種目に参加し健闘しました。また、第59回北海道陸上競技選手権大会には、農業高から男子槍投げ他3種目に2人

が参加し健闘しました。

また、本町で開催の日本学校農業クラブ全道意見発表大会に農業高校から3人が出場、その内、環境部門で1人が最優秀賞を獲得、全国大会に出場することになりました。

第73回NHK全国学校音楽コンクール全道大会で中標津小・丸山小の合同合唱団が金賞を獲得し、全国大会に出場することになりました。

## 児童生徒の交流事業

都市間児童生徒交流事業として、公募で8月7日から10日まで小学生10人、引率2人を川崎市に派遣しました。

また、「川崎市ふれあいサマーカーン」が8月21日から24日まで児童・生徒43人、引

と多様な分野で協力する内容です。

## 18年度建設工事の発注状況

8月末で件数で129件、発注率にして80%、金額は11億9570万円、発注率にして85%です。

率4人が来町し、実施されました。

## 農業高校の海外派遣

農業高校の特性を生かすため、ニュージーランドの酪農研修を重点に、環境対策や食品加工の研修を生徒8人と引率1人で7月29日から8月6日まで実施しました。

参加した生徒は、今後の酪農のあり方に、深く考えさせられ大変有意義な研修であったとのことです。



真剣に説明をうける海外派遣生

# 一般質問

# 町政を問う



9月定例会は5人の議員から9問の質問をしました。

理事者より、それぞれに答弁がありましたので要約し掲載します。

## 季節労働者対策

石井初義 議員

### 管内市町と連携し、要請

町 長

#### 質問

来年で季節労働者の冬期雇用  
援護制度が廃止され、また、特  
例一時金の廃止、削減まで論議  
されている。

季節労働者にとって死活問題  
となっている。

国、道に対して現状維持を強  
く働きかけると同時に町独自の  
対策を講ずべきではないか。

#### 町長答弁

また、入札参加資格審査の際  
に建設労働者退職金共済制度に  
基づく証拠の貼付状況や社会保  
険加入状況なども、厳正にチエ  
ックできないものか。

冬期雇用援護制度の廃止や特  
例一時金の削減は、季節労働者  
はもとより地域経済に深刻な影

響を与える認識している。

管内市町と連携し、存続改善  
を関係省庁に要請していきたい。

本町で実施している冬期就労  
対策事業は18年度も引き続き町  
道清掃などを実施していくと共  
に就労機会確保に努めていきたく  
い。

建退共制度や社会保険加入状  
況は経営事項審査において加  
点評価されているが、不履行であ  
っても指名願から除外すること  
にはなっていない。

工事施工時の確認や完成の通



季節労働者に就労機会の確保を

知書提出時のチェックなどでき  
ることはやっていきたい。

## 国民健康保険

広報や医療機関を通じ周知

町 長

石井初義 議員



質問

社会保険の被保険者資格がありながら、多くのパートタイムや季節労働者の加入率が強制適用事業所においてすら低い。窓口などでの行政指導の強化を図れないか。  
また、国民健康保険法に基づく災害など特別な理由があるところ

きは医療費の一部負担金の減額、免除について本町でも、国民健康保険一部負担金減免等実施要綱があるが、実績は全くない状況だ。  
申請主義によるものであり、病院窓口の説明パンフレットを置くなど周知徹底を図るべきではないか。

町長答弁

社会保険適用事業所が増える

ことは福利厚生や国民健康保険運営の面でも好ましいことであり、機会あることに社会保険事務所に要請していきたい。  
役場窓口での取り組みは難しい面があるが啓発方法を検討していきたい。

医療費の一部負担金減免制度について適用した事例はないが、広報や医療機関を通じ周知を図っていきたい。

## 新合併法の対応と財政問題

石井初義 議員

推移を見守り対応

町 長

質問

昨年で平成の大合併は一区切りがしたが、新合併促進法のもとで北海道も組み合わせを名指しして合併を促進している。背景にあるのは財政難であり、今度の合併は合併特例債もなく財政的なうまみもないが、あくまでも合併を推進していくのか。三位一体改革は多くの財源移譲と国庫補助負担金の削減を実現したが、地方交付税について

は不透明な部分があり、本町にとって不利な要素もあるやに聞く。

旧産炭地の深刻な財政問題や近隣三町も深刻な事態を表明しているが本町の財政の現状と将来をどう認識しているか、また、実質公債比率はいくらかを含め聞きたい。

町長答弁

合併新法は国の指針に基づき道が推進構想を策定し、勧告も

できることになっているが、あらかじめ市町村の意見を聴いて行うもので実情を無視したことはならないと思う。

管内四町の自治を考える会に参加し、信頼関係を大切にして住民の理解と条件が整えば新しい展開をしなければならぬと考えている。

なお、各町の財政状況は赤字決算にはなっていないが、交付税の削減などでの町も厳しい状況にあると思う。

本町の実質公債比率は17年度で16.4%であり危険ラインには達していないが、地方交付税算

定方法の簡素化もいわれており、年末の地方財政対策決定まで紆余曲折が予想され推移を見守りながら対応していきたい。



将来の合併は自治体の信頼関係と住民の理解で

## 正美公園について

渡邊将史 議員

良好な環境保持に努める

町 長

質問

正美公園は、地域の人々が自然とのふれあいの中で楽しく過ごす憩いの場です。

公園は樹木見本園、多目的広場、パークゴルフ場など遊べる公園ですが、訪れる人が少ないのです。

私が公園を眺めた時、樹木見本園など陽あたりや風通しが悪く、暗いので間伐が必要だと思います。

多目的広場の利用者が少ないので、芝生にしてパークゴルフコースの増設を望む地域の声があります。

公園整備を進めるにあたり予算などを考えたとき、町と地域住民が知恵を出し合うボランティアなども取り入れ、成田正美さんの意志を引き継ぐことが大切だと思いますが、いかがですか。



公園の環境保持は地域住民の協力が

町長答弁

公園は国の補助事業を導入し、地域の方と事業推進協議会を設立して憩いと安らぎの場の整備をしてきたところです。

平成17年度の利用状況は7930人、パークゴルフ場4034人となっています。北方樹木園は広葉樹を主体とした樹木を植えた場所です。公園全体に木が多く茂っているため、調査して園内の自然景観を損なわない範囲で対応したいと考えています。

多目的広場は、スポーツイベントなどの利用目的で整備したもので、いままでの経緯を考慮しますとパークゴルフコースへの転用は難しいと考えます。地域住民のご協力をいただき良好な環境保持に努めます。

## 町公設地方卸売市場について

柴野忠征 議員

周辺整備は計画的に

町 長

質問

民間委託の新聞報道を受けて「食の安全・安心」から課題について質問します。

一、市場建設の借入金は、年6%の金利負担を一括返済し、低金利に借換できないか。

二、施設使用料等を徴収しているが、施設・周辺環境の整備はできないか。

三、市場関係に仲卸業者が不在

だが、どのように考えているのか。

町長答弁

一、市場建設の借入金は、二口で1億2000万円で、平成22年までの残金は本年度を含めて5200万円となっています。

繰上げ償還は可能ですが、財政融資資金側に損失が生じ

ないように、補償金を支払うことが条件になっており、節減効果はあまり期待できないと思われまます。

二、修繕費・管理費などが301万円、使用料が1471万円となっています。

今後は、冷蔵庫設備などの老朽化もあり、周辺整備は計画的に実施していきたい。

三、現在市場関係に仲卸業者が不在ですが、中小商店には、迷惑をかけないように努めておりますのでご理解を願います。



市場の周辺整備は計画的に

## AEDの導入設置について

高田重樹 議員

施設の優先順位を考慮に検討 町 長

質問

体外式自動除細動器（AED）を不特定多数の人が出入りする公共施設への設置について質問



AED導入は優先順位を考慮して

します。

- 一、AEDの設置基準、使用基準についての認識と、今後の取り組みについて。
- 二、導入設置にあたり国・道への財政支援の要望について。
- 三、学校の保健体育、クラブ活動などを利用した使用方法の講習会の実施について。
- 四、指定管理者制度導入に係る施設の団体、業者への設置を指導、要請の対応について。

町長答弁

一、応急の手段としてAEDの使用は有効な手段と認識しており、教育委員会と連携を取り受講者の拡大に取り組みとともに配置については、施設の優先順位を考慮し設置して行きたい。

二、AEDは一台40万円と高価であり、耐用年数7年、他に消耗品もかかるため買い取りがリースが良いのか検討の必要がある。

現在、国・道の補助、助成制度がないので要請しながら機器設置の整備を図って行きたい。

教育長答弁

三、NPOなかしべつスポーツアカデミーと連携しながら心肺蘇生法講習会を今後も実施して行きたいと思っております。

現在、中・高生を含めて名が受講しております。

四、基本的に施設設置者の教育委員会が行うもので、財源の確保を図り利用者の多い施設や、高齢者の多い施設を優先的にする必要があると認識しております。

## 北方四島訪問と経済交流展望

松村康弘 議員

関連団体と連携を 町 長

質問

このたび、町長は択捉島を訪問されて、その豊かな北方圏の自然に感動されたと思いますが、観光に主眼をおいた経済交流についてお聞きします。

島の漁業資源にかかわらない観光と中標津空港の果たすべき役割を考えた時、従来よりさらに踏み込んだ主張や提言をする時期と考えます。

その中には釧根トライアングル

ル構想と北方四島との関係や、世界自然遺産に四島も加え発信することなどを提案していくべきだと考えますが。

また、四島の事情に精通し、本町が政府に進言する際の助言者になれるようなロシア語に堪能な人材の確保に留意する時期と考えます。

町長答弁

中標津空港を活用した経済交

流の可能性は、北方領土隣接地域振興対策協議会で再構築提言書に具体的に記述されたが、今後も積極的に取り組みます。

トライアングル構想の強化、世界自然遺産の範囲拡大の発信については、機会をとらえて対応します。

北方四島に精通した人材の確保については、その様な時期が近づいていると認識は持つっており、町内でのロシア語講座も強化されつつあり期待しています。

自治体の中では特化した事務事業となることから、関係する経済団体が人材確保することも

視野に、関連団体とも十分連携をとりながら検討を進めます。



経済交流が望まれる北方領土

商店街の賑わいは歩いて楽しい町並みから

松村康弘 議員

商工会や住民の皆さんと議論

町 長

質問

バイパス通りに大型店が張りついて一年余が過ぎ、中心街に空地が目立ち、週末の交通量や人通りが激減しています。

しかし郊外店は車なしには利用できず、歩いて楽しい町並みにはなりません。

その視点において、中心街は空地こそ目立ちますが、シャッター街ではなく、この空地进行有効利用して、週末の全町的な

リーマーケットのような賑わいを企画することはできないものか。

朝市や夜店、屋台、カフェテリア、ビアガーデン、ストリートパフォーマンスなど、出店可能な地域の形成と、ウィンドーショッピングのコンテストなども研究できると思います。

町長答弁

賑わいを街の中に復活させよ

町発注の公共事業の視点について

松村康弘 議員

技術の確保や継承に配慮

町 長

質問

一般住宅を大きくしたような規模の公共建築物が全く無い昨今は、中小建築業者にとって特に厳しい経営を強いられることになり、この規模の建築に精通した関係者が受難にあつていきます。

過去の建築物の内部構造がどのようになっているか分らないということになり、技術の継承が困難になります。

結果として自治体や地域住民にとっても、大切な資産である住宅や公営住宅の修繕維持に欠くことのできな人材がいなくなります。

材料比率の低い営繕工事、特にブロックの低層公住の外断熱改修などはメニュー化されてきており、新年度の予算研究が必要ではないか。



空地进行積極的に活用して下町の賑わいを

うという活動は、商工会の事業として「はしこ酒大会」や「なかつぶ市フリーマーケット」

町長答弁

建築のみならず、土木・建築全般にかかわる優秀な技術者が減少していることについては、大変憂慮しています。

しかし、町発注工事だけで問題が解決できるはずもなく、機会をとらえて、建設協会とも協力し、国・道等に対して、これらの対策について要請して参ります。

当面、町としても計画的に維持補修工事を実施していく中で技術の確保や継承等に配慮しながら、施工の方法によっては材料比率の低い補修方法等につい

が実施され9月には「商工祭り、まちなか賑わい秋の陣」が行われる予定で、町としても「目指せ起業家支援事業」などの助成を始めています。

バイパス沿いの自動車社会を象徴する商業集積に対して、市街地の街づくりは、単に商業集積としての対抗軸を考えるのではなく、生活・文化などの居住を視点とした取り組みが必要と考えています。多少時間をかけても、商工会や住民の皆さんと議論し、住みやすく、文化のある街づくりを目指していきたいと考えています。

て検討してみたいと思います。ブロック公住の外断熱についてはストック総合活用計画等を実施していく中で、多角的に検討して参ります。



ブロック公住の外断熱は多角的に検討



# 9月定例会で決まりました

平成18年9月11日から15日まで開催され  
議決された主なものをお知らせします。

## 9月補正額

一般会計は1843万9000円を増額し、118億7200万1000円となりました。

国民健康保険事業特別会計は1億7678万2000円増額し、24億8894万7000円となりました。  
介護保険事業特別会計は1392万6000円増額し、10億9451万8000円となりました。

水道事業会計は70万7000円を増額し、2億4580万6000円となりました。  
財産の取得  
中標津町運動公園用地の一部として土地取得を議決しました。

物件の所在地  
中標津町緑ヶ丘6番1

地目 原野  
面積 6万614・90㎡

取得価格

6352万1000円

契約の相手方 北海道森林

管理局長 亀井俊水

平成17年度中標津町一般会

計歳入、歳出決算認定外9件については決算審査特別委員会に一括付託することを議決しました。

## 条例の改正について

中標津町国民健康保険条例等の一部を改正する条例

一部負担金を高齢者で $\frac{2}{10}$ を $\frac{3}{10}$ に、出産一時金は30万円から35万円に改正されました。

中標津町老人医療費の助成に関する一部条例改正

用語の定義が「標準負担額」から「食事療養標準負担額」として、一部負担金は高齢者の $\frac{20}{100}$ が $\frac{30}{100}$ となり、助成の額で「標準負担額」を「食事療養標準負担額」と改正されました。

中標津町乳幼児医療費の助成に関する条例

用語の定義、助成の範囲の「標準負担額」を「食事療養標準負担額」に改正されました。

中標津町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の

## 助成に関する条例

用語の定義の「標準負担額」が「食事療養標準負担額」と「生活療養標準負担額」の二種類に改正となりました。

中標津町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

平成17年9月16日に、議員の報酬の減額を議決したところですが、財政状況は当時から好転しておらず、議員自ら歳出予算の縮減をはかるため、議員提案で条例を改正しました。

## 中標津町議会

### 第三回臨時会

(平成18年8月25日開催)

北方四島ロシア人患者の町立病院受け入れ

本年7月12日、外務省ロシア支援室より8月21日から9月25日まで、択捉島在住ロシア人患者5人のうち呼吸器系等疾患の19歳と26歳の男性2人を町立中標津病院で受け入れ

治療して欲しい旨の打診があり、町立中標津病院と協議し、受け入れを承諾しました。  
これらの費用は、医療業務に関しては外務省から町立病院に直接支払われ、治療以外の通訳業務などに関しては外務省からの受託事業として町に直接全額を国からの委託金として町の歳入予算に計上することにしています。

## 補正予算

下水道事業特別会計補正予算(専決処分の承認)

補正額 8680万円を追  
加し、14億3030万8000円となりました。

一般会計補正予算  
(専決処分の承認)

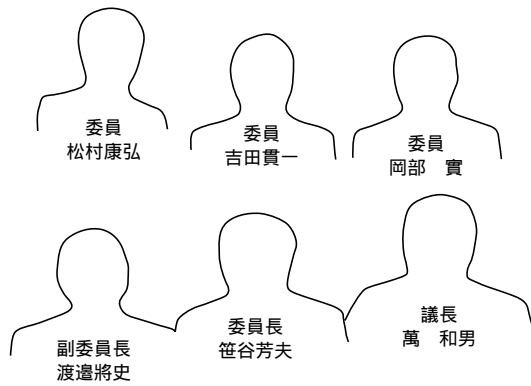
補正額 367万4000円を追  
加し、118億5356万2000円となりました。

選任第2号で常任委員会委員及び正副委員長、各特別委員会等の委員の選任を行いました。

(所属一覧表は10ページから)

# 中標津町議会議員 委員会等所属一覧

2年任期の各常任委員会と特別委員会が、9月で改選となりましたのでお知らせします。



主な所管は総務部と財産の管理に関する事項です。



総務常任委員会



主な所管は町民生活部、教育委員会、町立病院に関する事項です。

文教厚生常任委員会



主な所管は経済部、農業委員会に関する事項です。



産業常任委員会

# 委員会等構成



建設常任委員会



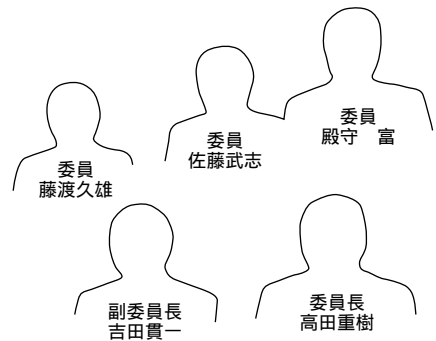
主な所管は建設水道部に関する事項です。



主な所管は議会の運営を円滑、効率的に進めることに関する事項です。

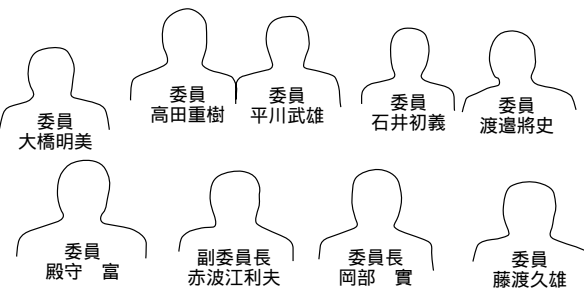


議会運営委員会



議会だよりを発行し、議会の内容を住民にお知らせすることです。

議会広報特別委員会



予算が適正に執行されたかどうか審査をし、行政効果や経済効果を住民に代わって評価する委員会です。



決算審査特別委員会

# 委員会等構成



議会改革特別委員会



新たに設置された委員会で、議会のより効率的運営を協議、検討する委員会です。

標津依橋大規模草地一部

事務組合議会議員

後藤 一男  
藤 久雄  
殿守 富  
萬和 男

根室北部衛生組合議会議員

赤波江 利夫  
児玉 清光  
殿守 富  
萬和 男

根室北部消防事務組合議会議員

渡邊 將史  
笹谷 芳夫  
吉田 辰男  
殿守 富  
萬和 男

中標津町外2町

葬斎組合議会議員

大橋 明美  
飯島 佐市  
岡部 實  
杉本 剛  
萬和 男

根室北部廃棄物処理

広域連合議会議員

佐藤 武志  
熊倉 重樹  
殿守 富  
萬和 雄

中標津地域森林・林業・林産業  
活性化推進議員連盟

会長 杉本 剛  
副会長 藤谷 久雄  
事務局長 笹谷 芳夫  
幹事 後藤 將史  
幹事 渡邊 將史

中標津町議会議員会

会長 吉田 辰男  
副会長 安達 勉  
幹事 柴野 征  
幹事 吉田 貫一  
幹事 赤波江 利夫  
監査 高橋 一爾



## 意見書

季節労働者の「特例一時金」現行維持および通年雇用の促進に関する意見書提出について

提出者 佐藤 武志 議員

積雪寒冷により冬期に失業せざるを得ない季節労働者が北海道では13万余人を数える。季節労働者は冬期の失業により毎年離職するもので、雇用の安定・通年雇用化促進のための対策を道全体として進めている。

しかし、行政改革の一環として雇用保険制度の見直しで労働政策審議会が論議されており、季節労働者の「特例一時金」の廃止等が検討されている。

これは北海道の実情を考慮せず、季節労働者の生活を厳しくするばかりでなく、事業主や地域経済への大きな影響が懸念される。

季節労働者の通年雇用促進を命題に、平成19年度より国の施策として「通年雇用促進支援事業（仮）」の実施が予定されている。

冬期失業の実情を踏まえたとき、道、市町村地域の努力や国の責任による事業成功が不可欠である。次を強く要望する。

一、季節労働者の「特例一時金」存続と現行制度の維持。

一、通年雇用移行できない労働者に対する新たな冬期雇用の確保。

# 定例会



氏名 秋山 登  
住所 中標津町東7条南7丁目10番地  
任所 中標津町東7条南7丁目10番地  
任期 昭和10年7月26日  
法務大臣の委嘱の日から3年間

人権擁護委員の推薦について諮問する



氏名 鈴木 結美  
住所 中標津町計根別南3条西3丁目1  
任所 中標津町計根別南3条西3丁目1  
任期 昭和34年1月21日  
至 平成22年9月30日  
自 平成18年10月1日

教育委員会委員の任命に同意する



氏名 金子 安一  
住所 中標津町字依橋11線北2番地  
任所 中標津町字依橋11線北2番地  
任期 昭和30年9月15日  
至 平成21年10月9日  
自 平成18年10月10日

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意する

## 人事案件

### 平成18年7月から9月までの行事関係

期日	行 事	出席者	期日	行 事	出席者
7月4日	議会運営委員会	9 10	25日	第3回臨時会	23 23
5日	議会広報特別委員会	5	9月7日	議会運営委員会	10 10
6日	全道林活議連連絡会合同役員会	会 長	11日	9月定例会本会議(1日目)	23 23
9日~ 12日	根室地方総合開発期成会道・中央要望	議 長	12日	産業常任委員会	6 6
10日	中標津空港ビル増改築意見交換会	副 議 長	12日	建設常任委員会	5 5
14日	議会広報特別委員会	5 5	13日	総務常任委員会	5 5
21日	第2回四町の自治を考える会	議 長	13日	文教厚生常任委員会	6 6
26日	産業常任委員会	6	14日	議会運営委員会	10 10
8月2日	釧根流域森林・林業活性化協議会	副 議 長	15日	9月定例会本会議(2日)	23 23
2日~ 3日	全道林活議連総会	会長・事務局長	15日	決算審査特別委員会	9 9
4日	建設常任委員会	6 6	19日	中標津空港ビル増改築意見交換会	副 議 長
11日	文教厚生常任委員会	5 5	20日	議会広報特別委員会	5 5
15日	中標津町殉公者追悼式	議 長	25日	議会広報特別委員会	5 5
18日	総務常任委員会	5 5	26日	議会広報特別委員会	5 5
22日	道議会北方領土特別対策委員会道内視察意見交換会	議 長	29日	第1回根室北部衛生組合議会臨時会	議長外3名

上段 = 出席者・下段 = 定数

### 議員の年賀状について



今年最後の議会だよりになります。  
公職選挙法の規定により、議員が選挙区内の有権者に年賀状を出すことができないことになっています。  
この点ぜひご理解をお願いいたします。

# 全国大会出場!



## 中標津小学校・丸山小学校合同合唱団

9月9日、札幌市で開催された第73回NHK全国学校音楽コンクール北海道ブロックコンクールに出場した中標津小学校ジャガーズ合唱部と丸山小学校合唱部の合同合唱団が見事金賞を受賞、全国大会に出場が決まりました。

全道コンクールでは課題曲の「まいにち『おはつ』」自由曲の「くもとかぜ」を熱唱して見事金賞を受賞しました。

全国コンクールは10月8日東京のNHKホールで開催されます。

初出場の緊張があると思いますが、この広い大地で育った「なかしべつ子」ののびのびとした歌声を披露してほしいと思います。健闘を祈ります。

編集を  
終えて



全国的に猛暑や異常降雨に見舞われ、涼しい道東地方も例年になく暑い夏でした。

全国各地では悲惨な事件事故が多発しており、身近では北方領土海域において漁船がロシア国境警備隊の銃撃を受け、若き青年が亡くなるという悲しい事件がありました。

ともすれば暗くなりがちなもの吹き飛ばせとばかりに猛暑の中、色々な催しが行われ、中標津小・丸山小合同合唱団が全国大会出場、中標津農業高校の生徒

が意見発表大会で全国大会さらに農高はソロプチミス日本財団の社会ボランティア賞青少年の部を受賞。また、中標津高校ラグビー部の花園出場など、若い力が躍動し明るい話題を提供してあります。

さて、議会も任期の折り返しを迎えて後期2年の各常任委員会・特別委員会が改編され新構成が決まりました。

広報特別委員会も新委員で第71号の広報紙を発行します。

これからも議会活動をよりわかりやすく、一人でも多くの皆様に読んで頂けるような広報紙作りに努力いたしますのでよろしくお願います。

議会だよりに対する  
ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197

北海道標津郡

中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL(0153)73-3111

FAX(0153)73-5333

議会事務局にご連絡を...

- ・ホームページは  
<http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは  
[nakasi-t@arens.or.jp](mailto:nakasi-t@arens.or.jp)

発行 / 中標津町議会

編集 / 中標津町議会広報特別委員会